

# 札幌心療福祉専門学校

## 精神保健福祉科「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

科目名	時間数	学年	実務経験
医学概論	30	1年	看護師として臨床経験がある教員が、その経験を生かし医学に関する基本的な知識を講義する。
心理学と心理的支援	60	1年	臨床心理士の資格を持ち、スクールカウンセラーとして教育機関での経験を生かし、授業内容が実際にどのような場面で生かせるのかを説明する。
ソーシャルワークの基盤と専門職	30	1年	精神保健福祉士及び社会福祉士の資格を有する。ソーシャルワーカーとして、精神科病院で勤務を経て、現在は精神科・心療内科のクリニックで勤務する。その臨床経験を活かし本講義を行う。
ソーシャルワークの理論と方法	60	1年	ソーシャルワーカーの臨床経験が20年以上ある社会福祉士であり、現在は病院の経営責任者が、その経験を活かし講義します。
社会保障 I	30	1年	社会福祉士の資格があり、一般社団法人の代表理事である教員が、その経験を生かし社会保障を基本とする講義を実施する。
障害者福祉	60	1年	社会福祉士として医療機関や地域包括支援センターでの勤務経験があり、現在は精神保健福祉士として精神科の医療機関で勤務する教員が、その経験を生かし障害者福祉に関し講義する。
介護概論	60	1年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし考え方の基盤になる人間観や障害観、援助者としての価値観と介護過程の基本を講義する。
ソーシャルワーク実習	30	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
高齢者福祉	60	1年	社会福祉士として相談業務の経験がある教員が、その経験を生かし実践に繋がる高齢者福祉知識と技術を講義する。
保健医療と福祉	30	1年	社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が、その経験を生かし保健医療サービスに関し講義する。
ソーシャルワーク演習(社会福祉専門) I	60	1年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かしソーシャルワーク演習(社会専門) I について授業を担当する。
ソーシャルワーク実習指導(社会福祉) I	30	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が担当する。
ソーシャルワーク実習(社会福祉) I	40	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会福祉総論	15	1年	授業内容にかかわる社会福祉施設で勤務経験を5年以上有する社会福祉士である教員が授業を担当する。
カウンセリングの実際	30	1年	臨床心理士の資格を持ち、スクールカウンセラーとして教育機関での勤務経験を生かし、実際の面接で起きることについても併せて講義する。
手話	30	1年	公益社団法人札幌聴覚障害者協会に所属し、各専門学校、企業、小中学校などの手話講師経験のある教員が聴覚障害者の生活等の基本を講義する。
介護技術	30	1年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし安心・安全・安楽な介護技術の基本を講義する。
接遇マナー	15	1年	学生および離職者の就職支援・施設職員への接遇マナー研修、介護福祉士としての医療・福祉施設での勤務経験をもとに講義を行う。
社会保障 II	30	2年	社会福祉士、介護支援専門員として相談援助業務に従事する教員が担当します。
権利擁護を支える法制度	30	2年	司法書士として成年後見人に就任中であり、その経験を織り交ぜて授業する。
ソーシャルワークの基盤と専門職(社会福祉専門)	30	2年	社会福祉士の資格を持ち、医療ソーシャルワーカーとして医療機関に勤務している経験も交えて、講義する。
ソーシャルワークの理論と方法(社会福祉専門)	60	2年	社会福祉士として相談業務の経験がある教員が、その経験を生かし実践に繋がる相談援助の知識と技術を講義する。
児童・家庭福祉 I	30	2年	社会福祉士の資格を持ち、福祉事務所・児童相談所・児童福祉施設の管理職の経験のある教員が、その経験を生かし児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉 I について講義します。
貧困に対する支援	30	2年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし低所得者に対する支援と生活保護制度について講義する。
ソーシャルワーク演習(社会福祉専門) II	60	2年	資格)社会福祉士、介護支援専門員、公認心理師 臨床心理士養成大学院修了後、地域包括支援センター、医療機関、居宅介護支援事業所で勤めている教員が担当します。
ソーシャルワーク実習指導(社会福祉) II	60	2年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。

科目名	時間数	学年	実務経験
ソーシャルワーク実習(社会福祉)Ⅱ	200	2年	各施設実習指導担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
精神医学と精神医療	60	2年	臨床心理士の資格を持ち、デイケアスタッフとして医療機関勤務の経験やスクールカウンセラーとして教育機関勤務の経験を生かして、障害の理解について解説する。
精神保健福祉の原理	60	2年	精神保健福祉士として精神科のクリニックで臨床経験のある教員が、その経験を生かし精神保健福祉の原理に関し講義する。
ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅰ	30	2年	精神保健福祉士の資格を持ち、医療機関や相談支援機関に勤務していた経験も交えて、講義する。
精神保健福祉制度論	60	2年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし精神保健福祉制度論について講義する。
ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅰ	30	2年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし精神保健福祉分野における相談援助について演習を行う。
ソーシャルワーク実習指導(精神)Ⅰ	30	2年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会・精神福祉総論Ⅰ	20	2年	精神保健福祉士または社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし社会・精神保健福祉に関し講義する。
情報Ⅰ	30	2年	特種情報処理技術者(旧通商産業省認定)。システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かしパソコンの操作やインターネット検索、Wordを使用した文書作成の実習を行う。
記録の基礎と活用	30	2年	精神保健福祉士として、精神科・心療内科クリニック、就労支援事業所に勤務。現在は、児童発達支援・放課後等デイサービスで勤務している。多分野の勤務経験を活かし、記録の基礎と活用を講義を行う。
ソーシャルスキル論Ⅰ	60	2年	社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持ち、医療機関や相談支援機関、行政機関に勤務していた経験も交えて講義・演習を行う。
社会福祉行政論	30	3年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし福祉行政財政と福祉計画に関し講義する。
刑事司法と福祉	30	3年	社会福祉士、精神保健福祉士として矯正施設(刑務所、少年院)勤務経験のある教員が、その経験を生かし、福祉専門職が刑事司法についての理解を深める意義について講義します。
福祉事務所運営論	30	3年	社会福祉士の資格を持ち、福祉事務所・児童相談所の管理職の経験のある教員が、その経験を生かし福祉事務所運営論について講義します。
現代の精神保健の課題と支援	60	3年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし精神保健の課題と支援について講義する。
ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅱ	30	3年	精神保健福祉士の資格を持ち、医療機関や相談支援機関に勤務していた経験も交えて講義する。
精神障害リハビリテーション論	30	3年	精神保健福祉士として精神科病院と相談支援事業所での臨床経験20年以上の教員が、その経験を活かして精神障害リハビリテーションに関する講義をする。
ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅱ	60	3年	精神保健福祉士として臨床経験のある教員が、その経験を活かし精神保健福祉分野における相談援助について演習を行う。
ソーシャルワーク実習指導(精神)Ⅱ	60	3年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
ソーシャルワーク実習(精神)	210	3年	各施設実習指導担当者、精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会・精神福祉総論Ⅱ	60	3年	精神保健福祉士または社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が、その経験を生かし社会・精神保健福祉に関し講義する。
情報Ⅱ	30	3年	特種情報処理技術者(旧通商産業省認定)。システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かしパソコンの操作や、Excelを使用し、関数を駆使した表作成の実習を行う。
医事会計	30	3年	医療事務管理士 内科、循環器科、整形、回復期病棟での医療事務経験あり。医療事務の基本を講義する。
合計	2300		